

浜田地域協議会と議会との意見交換会記録

令和4年8月19日（金）
14時00分～15時14分
全 員 協 議 会 室

【出席議員】大谷議員、三浦議員、足立議員、村武議員、田畑議員、笹田議長

次第

1 開会

2 地域協議会会長挨拶

3 議長団挨拶

4 自己紹介

5 意見交換

テーマ：地域防災について

6 閉会

【議事の経過】

〔 14時 00分 開議 〕

1. 開会

大谷議員	浜田地域協議会と議会との意見交換会を開会する。 初めに1点お知らせする。今日の意見交換会の記録及びはまだ議会だよりに掲載するため、写真撮影や録音をさせていただきたい。ご了承をお願いします。
------	---

2. 地域協議会会長挨拶

大谷議員	開会にあたり、浜田地域協議会会長にご挨拶いただく。
会長	今日は貴重な時間をいただき、議員との意見交換会、各自治会においてもいろいろ言いたいこと聞きたいことをまとめてきていただいていると思う。忌憚ない意見を出し、よりよい浜田市になるよう、有意義な意見交換会が行われるようよろしくお願いします。

3. 議長団挨拶

大谷議員	議長からご挨拶申し上げたい。
笹田議長	地域協議会との意見交換会は昨年に続いて2回目だが、浜田地区の地域協議会も今年新たに4名が選任されたとのことで、昨年とは違う意見が出るのではと思う。今回は地域防災についてというテーマで、地域をどうやって守っていくかが、市として課題である。短い時間だが皆の忌憚のない意見を聞かせていただき、今後の市政に反映させていけたらと思っているのでよろしくお願いします。

4. 自己紹介

大谷議員	各議員を紹介させていただく。 《 以下、議員自己紹介 》
大谷議員	では地域協議会委員の皆にも、一言ずつ自己紹介をお願いします。 《 以下、地域協議会委員自己紹介 》

5. 意見交換

・ 地域防災について

大谷議員	早速意見交換に入りたい。会議はおよそ1時間を予定している。委
------	--------------------------------

委員

員からご意見をいただきながら進めたい。本日は広域的な観点もあり、地域防災がテーマである。このテーマでよろしくお願いする。

下府地区において何度か市にお願いしていることについて話したい。下府は山と川と海が続いているのだが、山側から流れてくる水路のための砂防ダムをつくってほしいという要望を長年出している。63災のときに下府川がせきとめられ災害に遭った。マンホールから9号線の下を通って下府川に流れている状況で、例えばそこに軽自動車が1台そこにとまってしまうと、その周辺は水害になる。したがって砂防ダムの要望を出しているのだが、順番が順番がと言われなかなか前に進まない。県は少しでも早くそれらを解消したいという話も聞いている。どうしたら早くできるものか。非常に苦慮している。

もう1点。我々は地域の子どもたちを守るべく「見守り隊」を結成している。通学路の白線が薄れており、下府や唐鐘には県道と市道の境などで白線やとまれ表示が非常に見えにくくなっている。ぜひよい方向に持って行っていただければと考えている。

大谷議員
委員

1点確認だが、砂防ダムの件、もう一度説明を。

何度も要望しているができない状況になっている。私が会長になった8年前くらいからずっと言っているがなかなか前に進まない。折しも島根県に災害があり、政府の対策会議において砂防ダムの見直しの話が出たようだったので、またお願いしたのだが前に進む様子がない。小さい砂防ダムだが、そこに起点で大きな畝になることをご理解賜りたいのと、最後の出口部分が小さい、9号線という大きな壁があるので、それをクリアするには砂防ダムでとめるしかないのが現状だろうと思う。

大谷議員
田畑議員

これについて議員から何かあるか。

下府川は2級河川で島根県の管轄になっている。それから支流については下府川に限らず、支流河川の浚渫で処理していかないと。確かに砂防ダムをつくるのは大変重要だろうが、一時的に水をストップさせるのは、水量によっては大変難しい問題だろうとは思う。既に要望されているので我々議員が9月の個人一般質問に向けて、地域の声として島根県に要請するように発言していきたい。

もう1点、白線などが見えにくい場所もあるかと思う。それは随時要望していただき、それなりの対応を取っていきたい。特に下府地区は9号線との絡みがあるので国交省にお願いしなければならない

委員

が、これも併せて要望していきたい。

大谷議員
委員

砂防ダムの件は、下府川の出口が確保できるならよいが、それがままならない理由は9号線が通っているために暗渠になっていて、国、県、市の道が一緒になっているからである。せめて上流を少し砂防ダムでとめてもらえれば被害も少なく済むのではという考えで皆が陳情してきたのだろう。そこを察してほしい。

ほかに。

道路の白線や文字が薄くなっている件はもう学校へ伝え、学校から教育委員会へ出しているようなので、議員はそれを確認してほしい。2年前くらいに言っている。前校長先生からも問い合わせが来ている。それに加え、縁石に塗ってある黄色いペンキも薄くなっている。それも併せてお願いしている。願わくは柵が欲しいのだが、そこまではいかないかもしれない。周布まちづくりセンターから小学校までの間に柵が欲しいとお願いしている。

2級河川だとか支流だとかいう話をしてもよいだろうか。先般周布地区連合自治会として会合があり、今日のこのために意見聴取をした。それをご紹介しますので、できるできないではなくやる方向で頑張ってもらいたい。すぐやってもらいたい。予算が大事なのか人命が大事なのかよくお考えの上で検討してほしい。

吉地町というところがある。周布川より支流の出口が細く、抜ける水量が十分でないから途中でたまるのだと聞いている。現地へ行って見てほしい。確認してから議論してほしい。

また、葦がすごく生えている。そこにごみがたまって水が抜けない。それを浚渫してほしいという声が出ている。切るだけではだめ。

もう1点。防災無線が聞こえない。何か言っているということはわかるが内容がわからない。何とかならないものか。他の地区もそうでは。

周布川の草の対応について、周布連合自治会でも何とかしようではないかと話しているが、何せ広い。県から出る費用は1時間あたり250円でそれ以上は出ないため、なかなか追いつかない。2級河川なので、堤防はどうなるのか調べてみないといけないが、1町内の堤防は草刈りして市から助成金をいただいている。しかし反対側も同じ状況ではないかと思う。我々としてはどうにもならない。

大谷議員

地域の実情を紹介いただき感謝する。2級河川については現場を見

三浦議員

ないと論議しにくいので、確認しつつ今後の対応になろうかと思う。防災無線について、議員から意見はあるだろうか。

防災無線については周布だけでなくほかの地域の方からも、天候によっては大変聞き取りにくい、特に大雨のときは皆家の中にいるので余計に聞きにくいということで。防災無線のあり方については多くの議員が指摘している。私も岡山へ視察に行き、無線とは別の手法でコストを抑えながら情報を届ける仕組みを見ながら検討している。併せて防災無線の状況が改善されても、それだけに頼らず例えば今浜田市が提供しているLINEや防災メール、ケーブルテレビもいろいろな防災情報を出している。そういうさまざまな防災情報をいかに取れるか。一つの手段に絞らず情報を取る意識を皆にも持っていただく必要がある。その中でも防災無線は非常に重要な役割を果たすし、旧那賀郡エリアと旧浜田市エリアでは設置について大きく違うことも認識しているので、今伺ったご指摘を踏まえてこれからも環境改善を執行部に働きかけていく。

委員

今言われたメールなどは、携帯電話を持つ者は受信可能だが、高齢者はお持ちでない方がほとんどだと思う。そういった方のことも考えた対応策も考えていただきたい。防災情報が聞けるフリーダイヤルをこれまでいろいろな方に紹介してきた。そういう手段も使いながらできるだけ皆に早く周知できる仕組みづくりを議会としても考えていただきたい。

川の問題については今日にでも現場に行って対応策を検討していただきたい。これは市がやるのか県がやるのか私もわからない。もし県がやるなら県へお願いしていただきたい。

今日も通学路に穴が開いていることに気づいたし、上から何かが垂れ下がってきている。手で取れる部分は取ったものの追いつかないので国土交通省の日脚事務所に、すぐ来てくれと連絡した。まず現状を見てもらうように。穴は30センチくらいあり危ない。何にしてもとにかく早くやらないと問題が起こってからでは遅い。対応策をよろしく願います。今日はそのための集まりだと思うので。

三浦議員

ご指摘のように携帯電話を持っている方と持っていない方では情報の取り方は変わってくると思う。そうしたときに、今は地域の方々にもご協力いただきながら自主防災組織をつくっていただく働きかけを執行部からさせていただいていると思う。その中でも避難

	行動要支援者、サポートが必要な方がどこにおられて、その方を誰がどのようにサポートするのかといったことも、自身で避難できない、情報が取れないという方が地域におられると思うので、それをいかに地域で支え合うか、そういう意味でも自主防災組織の設立は進めていかないといけないと改めて思った。 それから白線の問題もあるが、私が住んでいる地域の通学路はそもそも白線がなく、結構深い側溝があるが、グレーチングもない。雨が降ると増水して溝があることもわからない。こうしたところが避難経路に指定されていると、雨で視界がよくないところに、さらに溝があるかどうかともわからない状況ができてしまう。避難場所に行くまでに事故が起こりかねない。通学路と避難経路は重なっている部分は多いと思うので、白線や縁石に色をつけるといった避難経路の安全確保の面からも、そうした点は教育委員会だけでなく防災安全の視点からも担当課にはしっかり伝えたい。
委員	ぜひお願いする。
村武議員	防災防犯メールの話が少し出たが、7月1日からシステムの変更をしている。もしこの変更ができてないアドレスなどもあるかもしれないので、今まで防災防犯メールが届いていたのに今は届いてないといった声があれば、市の防災安全課に問い合わせをいただいたり、我々に声をかけたりしてほしい。
大谷議員	命を守るための防災という観点で、地域の実情をご指摘いただいた。青森・秋田のほうでも1時間雨量が100ミリになるような大雨になっている。こうなるとハードだけではなかなか対応し切れないところもあるかと思う。とはいえ命を守るために考え、対応していかなければならないと思うので、そういう意味で今日は地域防災の話をしている。できればお互いの地域で共通する話題になればよい。
委員	本流と支流があって、それ以外に雨が降ると川になるところが各地域にある。そういう全体的な視点で物を見て整理しないと。支流河川なのはどこまでが川かのり面かわからない。全体的に調査して確認して整理を進めていただきたい。 また地域住民の防災意識の向上も必要なのではないかと思っている。その視点で、地域住民が草刈りしたり側溝を掃除したりするのだが、今は高齢化で限界である。やりたくてもできない。その場合どうしたらよいかを考えると、例えば旧市内の山間部から市街地へ

	移住した市職員がいらっしゃるので、そういった方に地域に帰ってもらい、自分の生まれたところを確認する必要があるのでは。先ほど三浦議員が「地域を元気に」と言われたが、ぜひ議員の皆、3人1組でもよいので同じ視点で地域を見て歩いて、現場を確認して、議会から執行部へ働きかけてもらいたい。
大谷議員 委員	大変切実な思いだと理解した。 6月5日に浜田市防災訓練があった。全体で何人参加されたか議員はご存じか。
三浦議員 委員	町内会ベースだと500くらいのうち、約半数の250くらいが参加したと聞いている。 旧市内の方はほとんど参加がない。旧市内は自主防災会をつくってないところがたくさんある。議員はぜひ自主防災の中に入っているだけで、こういう機会を持ってもらっているのでもっと議会からも意見をいただきたい。 防災無線は私のところもほとんど聞き取れない。スピーカーを置いた地区から苦情が出て、ほかの場所にかわしたらやはり聞きづらい。そういう面ももう少し考えていただきたい。 また別の件だが、商工会議所がなくなるということで、今でさえあの道は暗い。街灯が二つあるがまだ暗い。あそこを夜歩く方は多いので、街灯を増やしてほしい。また、雑草が多くて歩道にはみ出ている。あれも担当するところへ早く伝えていただきたい。
大谷議員 委員	9号線となると国の管轄で、連携が大事だと思うので、現場を見て確認しながら対応するよう努める。 通学路について。長沢の踏切から上へ帰る子どもが30人くらいいる。もし通学中にブロック塀が倒れたらどうなるのかという話が出て、一番心配な場所の持ち主に連絡を取るようになったのだが、地主は都会に出て地元には誰もいない。しかし手放すような方ではないということで、話が立ち消えた。ほかにも通学路のブロック塀やあばら家が目につく。特に持ち主が都会にいてこちらにいないような建物の撤去などを真剣に考えていかなくてはいけない。どういった策が取れるかわからないが、議員にも考えていただきたい。
大谷議員	6月定例会議のときにも防災については複数の議員から質問があった。浜田市にはマグニチュード7.1の明治地震の歴史がある。これは阪神淡路大震災と同規模になる。当時600人弱がその地域で亡くなっ

委員

た記録がある。大変な事案なので意識する必要がある。

大谷議員

放置された危険家屋の対策は難しいのか。

どれだけ危険でも持ち主に所有権があるので、なかなか手がつけれられない。市は危険を除去する程度にしかできない。法律的な問題がある。

三浦議員

通学路におけるブロック塀は大きな事件があってから浜田市も対応するよう予算がついた。きちんと通学路を全部見て、対象になるブロック塀がどれだけあって、それを全て撤去するだけの予算を確保してほしいということは、2年前の予算決算委員会で言って、確保してもらうようにしている。ただ、ふだんそこにおられない方にくらチラシを投げて届かない。空き家活用の話と一緒にになるので、安全管理をしっかりしてほしいという働きかけは、できる限りしないといけない。また、近所の付き合いも大事だと思う。どこに誰がいて、あそこの息子は東京に出ているとか、帰ってこられるタイミングで声をかけてみるとか。所有権の問題はなかなか難しいが、地域で安全確保していくとか、見守りの観点からも必要なのかと。なかなか有効な解決策は私も持ち合わせていないが、私の住む近所では、どこに誰がおられるか把握するようにしている。個人情報の都合で最近余計に難しくなっているが、気をつける必要がある。

先ほど自主防災組織の話が少し出た。聞けば現在、浜田市内の自主防災組織設立率が60%とのことである。今年度10%程度上げようと目標をつくり、執行部も働きかけながら地域を回っているとのことである。やはり設立する際に意識の問題や、どういう手順で組織していけばよいのかがなかなかわからないし、地域の方だけでは難しいところもあると思うので、支援スタッフをここ数年置いている。担当課に聞くと、2、3割の地域は防災組織を必要だという意識に至っていないとのことだった。防災意識が働かないと組織をつくる一歩が踏み出せないと思うので、出前講座を我々からも働きかけていくとか、そういうことから意識を醸成していくことが必要である。

委員

大雨のときの排水経路の問題がいろいろ取り沙汰されているが、それに追加して、石見地区、浜田地区、それぞれ浜田川を挟んだ地域になるが、浜田第2ダムができて以来、浜田川の氾濫はまだ経験していない。ただ最近の天候を見ると短時間に多量の雨が降り、排水し切れない。浜田川に流れ込む浜田市街地の排水溝の排水能力を検

大谷議員
委員

話し直す必要があると考える。

被害が広域になるので考えていかないといけない。

地域防災の観点で。私は行政連絡員や町内会長を十数年やっているが、私の町内会の名簿をどこまでつくればいいのか。アパートで住民票を移していない人の分など。防災訓練をする前に、私の管轄している全世帯の名前と携帯番号、固定電話くらいの名簿を、行政連絡員または町内会長として整理することが第一歩かと思う。それから、何かあったときにどこに連絡するか。その名簿ができた後、誰に公開したら個人情報漏洩になるのか。その辺が非常に難しい。どこまですべきかがわからない。アパート住民からは町内会費をもらっていないので、アパートの大家の連絡先しかわからない。その辺の整理は末端としてどうすればよいか教えてほしい。

田畑議員

名簿作成されるにおいては、それぞれの世帯の氏名、住所、電話番号など個人情報を公開していただきたいというお願いをしてからでないと、後々に大きな問題が出る。我々も地域において自主防災会をつくり、最初にやったのが各世帯の家族構成や携帯電話の番号などの調査である。災害時以外には使用しないという前提でつくった。その中で、世帯によっては避難できない人、介助があれば避難ができる人、1人で避難できるが時間がかかる、1人で十分避難できるというランク分けをして、班長がそのデータを持っている。災害があったらすぐ携帯電話で安否確認をする。まず個人情報公開に対する理解が住民側にないと勝手にはできない。そこは自主防災組織をつくる上で、十分にご理解をいただくことが前提になろうかと思う。そうすることで災害に遭わない、災害で命を失わない、けが人を出さない地域をつくっていくことが大前提である。そう簡単にはできるものではないが、早急に自主防災組織をつくってほしい。個人情報の取扱いについては、注意していただきたい。

委員

何かあったときのためにその個人情報をもらいたい、許可をもらうための書類などは保存しないといけない。そのノウハウはどの課で教えてもらえるのか。

田畑議員

防災安全課になろうかと思うが、私の地元の自主防災組織ではネットで調べた、研修に行って対処法を入手して、ルールをつくった。それが結果としてよかった。改良点はまだまだたくさんあるが、年2回ほど地域のウォーキングを兼ねて避難場所の確認などに取り組んでい

大谷議員

きながら絶えず防災意識は高めていかないといけない。避難が困難などの世帯を気にかけておくなども。

防災安全課でできるようなので、窓口にお出かけしてほしい。大規模災害となると交通の遮断などで救援もできなくなる可能性もある。交通網などの観点から何かあればお願いする。

委員

交通の遮断ではなく、生活している中で困っていることがある。どこの町内においても空き家が多くなって崩壊しそうなのだが、誰に言ったらよいかわからない。市としては空き家バンクという施策があるが、空き家バンクとして貸せない状態の空き家もたくさんある。それらは今後どのような形で対処していったらよいか、各自治会悩んでいると思う。防災の意味では、そこに犯罪者が住み着くなどと聞く。うちの地元では猫がそこで繁殖しているようである。どのように処理しているのか。市としてはどういう考え方を持っているか。対応の仕方、あるいは今後どのようにするか動きがあればお聞かせいただきたい。

村武議員

猫については浜田市が、猫の繁殖制限手術の助成をしている。個人の飼い猫への助成もあるが、地域猫も町内会から申請をして手術する場合は全額出ることになっている。それが利用できるのでは。私の住む地域の事例だが、猫を捕まえるのは猫の保護活動をしているNPOに協力を仰いだ。

大谷議員

今日のテーマは地域防災なので、この点について。

三浦議員

空き家の問題だが、親から譲られて使わないけど壊すには情動的な事情もあるのだろう。税金対策というのものもある。壊すと固定資産税が上がるなど法的な事情で残す選択をされるケースもある。使わなければ売却する、安全面で壊す選択をするなど、促していくには税制問題も含めて、解体もきちんと選択できるような環境を提供してあげないと、今のままだと先延ばしになる。空き家については抜本的な解決策を今持ち合わせてないのだが、現状を踏まえて考えていかないといけない。

せっくなので皆に伺いたいのだが、自主防災組織の設立が浜田市内では60%くらいだとのことで。今日出席されている中で自主防災組織ができてない地域の方は、なぜできないのか。地域の声を聴かれているなら、今後の参考にしたい。

委員

自主防災の意味、必要性を認めていない地域もある。会長が短期

委員

でかわるので、立ち上げようとしていたのが頓挫してうまくいかない。出前講座などを受けても、これをやっているから自分たちは大丈夫といった考えを持っているところもあるようである。周布地区でも一部でき上がっていないところがある。今立ち上がろうとしているところもある。なかなか簡単にいかないのは、あまり必要性を感じていないせいだろうと思う。メリットをもう少し発信してほしいし、立ち上げを手助けしてほしい。ノウハウを持っている人がいれば立ち上がると思う。こうすればということを強く教えてあげてほしい。そうすれば立ち上がるのでは。

大谷議員

大麻地区の現状を話したい。ご存じのように海の近くで、ほとんどの家は津波が来たらだめ。この6月の市の防災訓練で伝達訓練をやったが、あのときは土砂災害を想定した。9号線より上の方は協力的なのだが、海側の人は土砂災害は関係ないと言う。うちは3町内あるのだが、自主防災をやっているのは折居だけで、西村町1町内、2町内は関心がないのでなかなか自主防災組織ができない。もっとアピールしていただければよい。

話をしていくためには人と人がつながっていないと、なかなか意図が通じにくい。自主防災組織という枠だけでなく。コロナ禍で難しい状況はあるが、地域の祭りなど行事をしながらつながりを広げていけたらよい。

委員

ご案内していた時間が経過している。大変恐縮だが、もう1人最後にご意見を伺えたら。

防災基地のような働きをすれば若干予算がつくのでは。特に今、自衛官の燃料補給基地ということも言っている。今は自由に入れるのは浜田港くらいだというくらいPRしてもらっているのですが、その基地と防災にも、今まで太平洋側で災害が起これば日本海側がバックアップするという観点で、浜田の臨港道路4号線は県が計画したのだが、物量がないためだめだった。広島が被災した場合には、浜田からバックアップするという事で、高速道路と岸壁をつないだらということで配置した。港を基地にするのは、自衛官のこともある。クルーズ船は少し休憩してまた出ていく。経済効果も考えると防災基地としての浜田港という観点が大事である。防災の避難場所にも簡単にできるので。せっかく浜田に大きな港があっても物量が非常に少なく苦勞している。そういう意味ではそういう観点の活用法も

足立議員

必要ではないかと思うがいかがか。

貴重なご意見をいただいた。市としても、浜田市には防衛協会があるので、その辺と一緒に頑張ってぜひこの地域が自衛隊補給基地になるような取り組みをすることで、この地域への経済効果も大きいだろうし、国関連の施設ができると波及効果もいろいろあるだろう。これは引き続き市長を筆頭に取り組んでいきたい。議会もしっかり取り組みたい。

大谷議員

違う角度での指摘をいただいた。ご案内した時間となっているので、もしよろしければ締め切りたいがいかがか。

(「はい」 という声あり)

本日は多方面から切実な思いを聴かせていただいた。

6. 閉会

大谷議員

予定では副会長からご挨拶をいただくはずだったのだが、会長にお願いする。

会長

今回は貴重な時間をいただいた。議員は今回の貴重な意見を胸に刻んでいただいて、自分の足で、今日聞かれたことを見て、頭の中で考えてそれを市政に反映していただくよう。聞き流しではなくしっかり刻んでほしい。切実な思いで皆語られたと思う。我々自治会も時間を割いて、地域の意見をここに集約してきた。それを理解していただき、いち早くよい報告が我々に届くよう努力いただけたら幸いである。

大谷議員

今日いただいた意見については、現場に出向き、目で確かめながら前に進めたい。コロナ禍であるがこうして直にお会いして思いを聴かせていただくことは、我々の次へのステップにもつながるかと思う。今日は貴重なご意見をいただき感謝する。いただいた意見は全員協議会の場で全議員に共有する。

以上で浜田地域協議会と議員との意見交換会を閉会する。

[15時 14分 閉議]